

台風の後、「このまま秋に突入か？」という朝夕でしたが、
やはり、そんなわけはなく、日中の暑さは続き・・・

これからが八月、夏本番です。今年7月の気温の変化を見ると、これまでに見てもない線を描いて消え去った台風6号を境に、暑さが一端和らいでいることがわかります。

昨年と較べると、台風の前は、昨年より今年の方が暑い日が続いていたのですが、台風の後には、昨年より気温の低い日が続いています。台風の前後数日分の数字を入れ替えると、昨年とほぼ同じ形のグラフになるので、なんとなく、バランスがとれているような気がします。

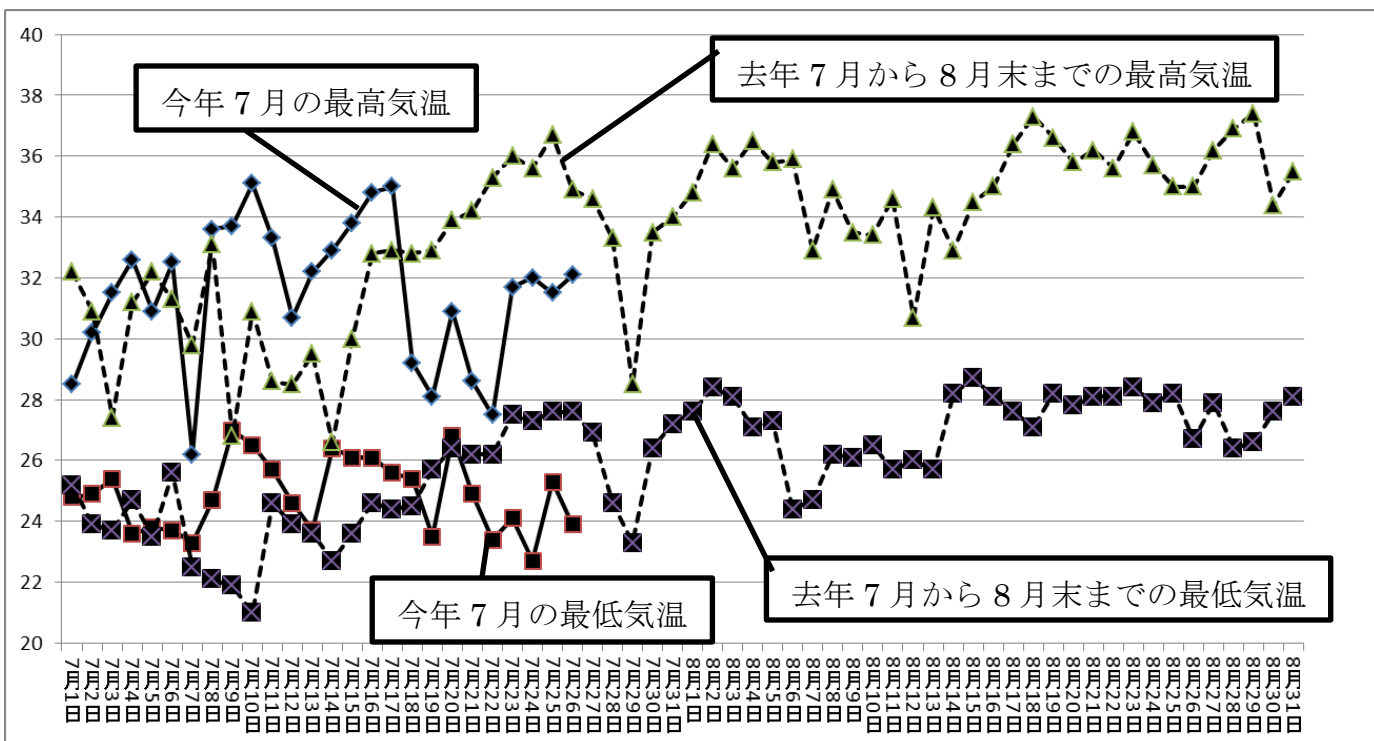
今後1週間の近畿の予報では、最高気温が昨年のように34度を越えることはなく、32度前後とされていますから、暑いと云っても昨年よりましな状態が続くようです。ということは、暑さを逃れたという点では、台風のお陰で得したことになるのかも知れませんね。台風がなければ、暑さ続きの日々だったことになりますから。

暑さが続く中、70歳を超えた大先輩が、「夜間宿所出てからの一日が長くて困る。朝、10時まで居らしてくれたいの」に「ぼやいていました。「生保にいたら」と勧めたところ、「そやねん、行こうと思

さて、昨年ほどの猛暑となるか？

たら、何の支障もなく行けるのはわかっているやけど、何となく、先延ばしにしている・・・」。暑さが続くと、決意するものもダルくなりがちですが、惰性を廃し、生保へ！

【7月22日から1ヶ月予報】 平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。向こう1か月の降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。(気象庁)



市更相は釜ヶ崎（あいりん地域）の福祉相談窓口です。

夜間宿所利用・炊き出し利用、センター周辺や公園での野宿・仮小屋生活から、アパート生活へ！

市立更生相談所（市更相）は、釜ヶ崎（あいりん地域）内の簡宿利用者、夜間宿所利用者、そして、地区内で野宿する人を担当する福祉の相談窓口です。

役所は管轄（縄張り）にこだわりますから、市更相の窓口で「天王寺公園で寝ていた」というと、「天王寺区役所で相談して下さい」といわれます。「鶴見橋商店街で寝ていた」というと、「西成区役所へ行って下さい」といわれます。この点、相談に行く前に、しっかり確認しておいて下さい。

最低でも、相談に行く前の晩は、夜間宿所かセンター周辺あるいは山王・太子など市更相周辺で寝泊まりしていたことが必要です。地区内の簡宿に止まっている人が、わざわざ野宿していく必要はありません。

大阪市立更生相談所にできること

1) 医療相談

体の調子の悪い人は、医者を紹介してもらえます。大概是医療センターですが、眼科や歯科など病気によっては、他の病院を紹介してくれます。勿論、無料で医者にかかれます。医療センターの受診の後、医療センターの相談室で相談して、紹介状を書いてもらうこととなります。医療継続のために、必要です。市更相に持っていきましょう。入院の場合は、生活保護の医療保護（入院保護）とすることとなります。

2) 施設相談

2～3日、三食風呂付きで体の調子を整えたい人は、三徳寮の生活ケアセンターの利用を相談してみてください。最近の利用者が少ないので、断られることは少ないようです。医療センターの受診の後、医療センターの相談室で相談して、紹介状を書いてもらうこととなります。市更相に持っていきましょう。市更相からの、生活ケアセンターへの紹介状を持って、三徳寮の受付に行きます。これは、生活保護法外の援助、つまり、法外援助といえます。

2～3日でなく、長期に施設に入って、体力の回復や過度の飲酒やギャンブル依存などの悪い生活習慣を改善した人は、長期の寮（生活保護施設）への入所を相談しましょう。生活保護の中の施設保護です。

3) 居宅確保相談

住居のない人が、アパートやマンションを借りて、生活保護の中の居宅保護を申請することができます。この場合は、医療相談でも施設の相談でもなく、居宅保護の相談であることをはっきり、職員に伝える必要があります。大阪市には「生活移行支援事業」というのがあります。住居のない人については、住居を探す間や生活費を支給するための手続きをする間、寝泊まりする場所がないと住居探しなどに専念できないだろうということで、2週間程度施設で過ごすことになっています。施設の職員が、住居探しの手伝いをしてくれるほかに、手続き上のわからないことについて、助言してくれます。

注記：敷金のいらない賃貸住宅（マンション・アパート）に入る人は、入居したその日に、契約書を持って、担当の区役所へ行くこととなります。